

令和元年度 定時総会の開催報告



2019年6月10日(月)大阪国際交流センターにおいて、会員5,553名(出席者620名、委任状提出者710名、賛成議決権行使者4,223名)の出席を得て公益社団法人大阪市シルバー人材センター令和元年度定時総会が開催されました。

総会は正会員の金澤百合子さんの司会によって進行され、中山芳樹理事長の開会挨拶に続き、

ご来賓の出海健次大阪市福祉局長から祝辞をいただき、ご臨席の出海福祉局長及び久我秀人福祉局高齢者施策部長、岸田晃和いきがい課長のご紹介のあと、正会員の赤阪昇三理事が議長に選出され議案審議に入りました。提出された議案は「平成30年度事業報告」「平成30年度決算報告及び監査報告」「役員を選任」の3議案で、いずれも原案どおり可決承認されました。また、理事会の承認事項の「令和元年度事業計画」「令和元年度収支予算」の2点について報告されました。定時総会は活発な質疑が行われるなど盛会のうちに閉会しました。



理事長挨拶要旨

会員の皆様方には、日頃からセンター事業の推進にご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、今年は当センターが、昭和59年2月の設立から事業を開始して35年になります。事業開始からの35年間において、会員数は約39倍に、契約金額は約34倍と飛躍的に拡大いたしました。

これもひとえに、大阪市をはじめ関係諸団体各位のご支援・ご協力のもとより、センターの趣旨をご理解いただき、多くの仕事をご提供いただきました発注者の方々、草創期からご貢献いただきました先輩役職員のたゆまぬ努力、そしてなにより親切・丁寧をモットーに、就業に励まれました会員の皆様方のご尽力の賜と、あらためて衷心より敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

一方、その間に社会情勢は大きく変化し、昨年、総務省から発表がありました人口推計におきましては、65歳以上の高齢者の割合が28.1%と過去最高となり、総人口の約3.5人に1人が65歳以上という超高齢社会となっており、また、75歳以上の後期高齢者が65歳から74歳までの前期高齢者を上回って高齢者全体の半数以上となり、いわゆる「重老齢社会」に突入したとのことでございます。

重老齢社会においては、高齢者一人一人が「健康寿命」を伸ばし、働く・学ぶ・遊ぶ・休むの4つをうまく組み合わせる人生100年時代を設計す



理事長 中山 芳樹

ることが重要であるとされております。

このような社会状況のなかで、高齢者が臨時的かつ短期的な就業を通じて社会参加を進め、いきがいの充実や健康増進とともに、地域社会への貢献を目指すセンター事業はますます重要になっております。

当センターは設立以来、請負・委任による就業を中心に事業の拡大を進めてまいり、現在では「労働者派遣事業」や「有料職業紹介」「訪問介護事業」のほか、企業などの労働力不足の解消を目指した「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」に取り組んでおり、昨年度は経営コンサルタントに就業開拓活動の検証を依頼し、活動の効率化に努めたところでございます。

また、大阪市と「空き家等の適正な管理の推進に関する協定書」を締結し、空き家対策事業にも貢献できるように取り組むなど高齢者の就業の場の提供拡大に努めているところでございます。

今後とも、高齢者が長年培ってこられた知識や経験・技能を活かし、働くことを通じて「いきいきと活動する社会」の実現を目指して、役職員一丸となって事業の推進に努め、活力のある地域社会の構築に寄与してまいりますので、引き続き、会員の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

松山新理事長就任あいさつ



このたび、2019年6月10日に開催されました第3回理事会で理事長に選任されました松山繁樹でございます。その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

当シルバー人材センターは、昭和59年2月に設立され本年で満35年を迎えました。

昨年度末の会員数は約9,800名、契約実績も約25億6千万円に達するなど順調に発展してまいりましたのも、ご指導ご支援を賜っております大阪市をはじめ関係諸団体および発注者各位、そして中山前理事長をはじめとする歴代の役職員の方々はもとより会員の皆様方のご努力の賜と心から敬意を表するものでございます。

現在、我が国は出生率の低下とともに世界でも類を見ない超高齢社会・人口減少社会に直面しつつあります。

このような社会状況のなかで、高齢者が生涯現役として社会参加をすることが求められており、地域社会の担い手として、また地域社会に活力を生み出し福祉の増進に寄与するセンター事業は今後ますます重要な役割を担うことが期待されているものと存じます。

このような時代に理事長に選任され、その役割と責任の重さを認識するとともに、センター事業の充実発展に微力ながら最善の努力を積み重ねてまいり所存でございますので、会員の皆様をはじめ役員の方々、関係各位におかれましては今後とも倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまして、私のご挨拶とさせていただきます。

平成30年度事業実績報告

- **会員数（平成31年3月末）**
9,749人（対前年+56人、0.6%）
（男：6,310人、女：3,439人）
- **就業実人員（派遣含む）**
5,669人（対前年-393人、93.5%）
- **就業率 58.1%**（対前年-4.4ポイント）
- **契約件数（派遣含む）** 44,422件（対前年+166件）
内訳 { 公共 1,471件（-279件）
 民間 42,951件（+445件）
- **契約金額（派遣含む）**
2,555,624千円（対前年-79,435千円）
内訳 { 公共 377,684千円（-113,547千円）
 民間 2,177,940千円（+34,112千円）

講演会報告

定時総会の第2部として、落語家の桂 福團治さんに「なにわよもやま噺」と題してご講演いただきました。

オレオレ詐欺の話や認知症のことを織りませながら、手話落語を始められたきっかけや世の中に浸透させるまでの苦労話などを円熟の話芸でじっくり聴かされるなど、来場者を魅了されていました。



新役員を紹介

新たに就任された役員の方々をご紹介します。

理事長 松山 繁 樹
副理事長 野口 一 郎
副理事長 矢田貝 キサエ
理 事 多 田 龍 弘
(順不同)

長年にわたってセンターの運営にご尽力を賜りました次の役員の方々が退任されました。

中山 芳 樹 様 (理事長)
中 保 昌 様 (副理事長)
吉 村 八重子 様 (副理事長)
乾 繁 夫 様 (理事)

大変、お世話になり誠にありがとうございました。

令和元年度事業計画

1. 就業開拓提供事業の推進
2. 普及啓発事業の推進
3. 研修会・講習会の開催及び拡充
4. 相談事業の拡充
5. 安全・適正就業事業の推進
6. 訪問介護事業の推進
7. 独自事業の推進
8. 職業紹介事業の推進
9. 労働者派遣事業の推進
10. 会員拡大の推進
11. 組織体制の充実強化
12. 財政基盤の拡充

令和元年度収支予算

(単位：千円)

項 目	令和元年度予算額
受 託 事 業 収 益	1,891,890
独自・企画提案事業収益	9,574
労働者派遣事業等受託収益	88,621
有料職業紹介事業受託収益	60
介 護 保 険 事 業 収 益	15,708
受 取 会 費	11,633
受 取 補 助 金 等	97,400
そ の 他 収 益	17
経 常 収 益 計	2,114,903
事 業 費	2,062,767
管 理 費	52,136
経 常 費 用 計	2,114,903
当 期 経 常 増 減 額	0